

様式第2号（第7条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称		第4回川島町総合振興計画審議会
開 催 日 時		令和3年3月2日（火）午前10時から11時10分
開 催 場 所		川島町役場 大会議室
議 題		(1) 町民アンケート結果について (2) 第6次川島町総合振興計画 骨子案について (3) 今後のスケジュールについて (4) その他
公開・非公開の別		公 開（傍聴者0名） ・ 非公開 ・ 一部非公開
非公開の理由 (非公開の場合のみ)		
出席者	委員	西村委員、石島委員、鈴木治委員、今井茂夫委員、川島委員、利根川委員、遠山昌代委員、早坂委員、猪鼻静委員、今井敏義委員、堺委員（代理）、遠山豊委員、矢田堀委員、鈴木恵美委員、猪鼻彩子委員
	事務局職員	政策推進課 藤間課長、友野主幹、喜多川主査、品川主任
配 布 資 料		会議次第、資料1～4、当日配付資料
審議会等の内容・概要		
<p>1. 開 会</p> <p>2. 会長あいさつ</p> <p>（事務局より会議の開会にあたり、川島町審議会等の会議の公開に関する要綱に基づき、会議は原則公開であることを説明する。なお、会議録を公開するが、発言委員名は記載しない旨で委員より了承を得る。）</p> <p>3. 議事</p> <p>会 長：議事録署名委員を指名する。猪鼻静委員、今井敏義委員を指名する。</p> <p>(1) 町民アンケート結果について</p> <p>（事務局にて当日配付資料を用いて説明。）</p> <p>会 長：各委員で内容を確認していただき、特筆したい内容があれば、今後の審議会の中</p>		

で発言いただきたい。

(2) 第6次川島町総合振興計画 骨子案について

(事務局にて資料1～3を用いて説明。)

会 長：本審議会に「かわじま☆未来塾」に所属している委員がいるが、先日、町長に総合振興計画に関する提言書を提出したと聞いている。どのような取組であったか。

委 員：町の10～20年後を見据えた検討の中で、新たな発見が多くあった。一方、かわじま☆未来塾の活動の認知度を上げていく必要があるとも感じた。

委 員：町民目線と職員目線のそれぞれを知ることができ、非常に充実した活動であった。今後は未来塾にもっと多くの方を巻き込み、町と一緒にまちづくりを進めて行きたい。

事務局：今回提示した骨子においても、「戦略目標3 つなぐ」の重要施策②「新しい自治体コミュニケーションの推進」として「町民が町に意見を届ける方法の拡充」と表記しているが、これは、かわじま☆未来塾の活動も想定している。第6次計画を推進する中で、重点的に取り組んで行く。

会 長：まちづくりには、町内会のような地縁型のネットワークと、かわじま☆未来塾のような課題型のネットワークのそれぞれが必要である。事務局においては、提言書の内容を反映できるよう考慮されたい。

会 長：本日は、基本計画の内容についてご意見を伺いたい。先ほど事務局からの説明でもあったが、総合振興計画に関連する個別計画について記載するとのことであった。個別計画が改訂される期間はこの総合振興計画の計画期間より短い。改訂の都度、町の最上位計画である総合振興計画との整合性を確認することとなる。つまり、今回、この新たな第6次計画で位置付けた施策や目標は、今後、あらゆる個別計画に影響を及ぼすこととなる。

ここで何を骨格とするかというのは非常に重要なことである。委員それぞれの得意分野を始め、あらゆる視点からご意見をいただきたい。

委 員：「主な施策13 安心して暮らすための河川の整備」について、災害対策や安全・安心な河川環境という意味から、より愚直に記載されたい。河川の安全管理は堤防の整備と流下能力の向上がポイントとなる。親水空間やビオトープの整備等も必要であるが、前段では安全管理に向けた取組を記載されたい。

事務局：ご指摘の点について、担当課と調整して対応する。

会 長：近年の降雨量急増を考慮すると、当町の地理的特性からも、本施策に災害対策の視点を加えるのは必要と考える。

委 員：今般、男女共同参画について多方面で議論になっている。本計画で特出しして取り上げてはいかがか。もう一点、国の取組として、水害時の高速道路への避難を推進すると聞いている。当町でも圏央道を活用して取り入れていく考えはあるか。

事務局：まず一点目の男女共同参画については、第6次計画では「SDGsに向けた取組の推進」と「戦略目標1 まもる」における「主な施策3 人権尊重・男女共同参画の推進」でご指摘の点については対応していきたいと考えている。二点目の水害時の高速道路利用については、第6次計画に基づく具体的な取組の位置づけとなってくると考える。構想として特出しするべきか、個別事業の中で推進するべきかは担当課と調整したい。

会 長：男女共同参画等については、例えば「SDGsに向けた取組の推進」の文中に「多様性」と加えてはどうか。一点集中ではなく、多様性を持たせることで持続可能性が高まるという議論もある。

委 員：個別計画はすでにHP等で確認できるのか。

事務局：各課所管政策に関する個別計画は、HP等で公開されている。

委 員：「戦略目標4 そだてる」の重要施策①「夢を育む新たな学校づくり」に小中一貫校の記載があるが、これは一校に集中させるのか、複数校に分散するのか。

事務局：町の方向性は同じ敷地の一校で学ぶ小中一貫校を目指すとしている。この考え方については、公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画の中で提示したところである。具体的には今後検討を進めるが、人口が減少していく状況においては、施設の総量を抑制していくという観点からも、一校で学ぶ小中一貫校が望ましい。

委 員：計画全体についてだが、人口減少時代において、地に足のついた実効性のある計画を策定して行くという主旨は理解できる。しかし、今後のまちづくりを考えた場合、「夢のある計画」とすることも必要ではないか。町民、特に若い世代の町民が希望を持って将来を考えることができるまちづくりも目指してもらいたい。

事務局：ご指摘の通り、夢を描くことは重要なことである。一方、10年の計画期間を考えると、この期間で実現可能性のある内容とする必要がある。希望のある内容という意味では、土地利用構想図をご覧いただくと、「インター周辺重点開発地域」を

位置付け、町の産業振興に向けた構想を示している。また、「戦略目標3 つくる」において重要施策①「川島インターチェンジ周辺整備の推進」を掲げ、対象地域の開発によって、経済活性化や交流人口の拡大を目指して行きたいと考えている。以上が、第6次計画における「夢を描く」という箇所として捉えている。

会 長：委員のご指摘も理解できるが、自治体の計画である以上、実現可能性のある内容とする必要がある。

委 員：かわじま☆未来塾では、希望の持てる活動をしていく。ご興味があればご連絡をいただきたい。

委 員：計画全体についてだが、非常に多岐に渡っているため、優先順位をつけて取り組むべき。先ほど開発の話があったが、埼玉県は今後かなり発展していくと考えている。首都圏の中でも、開発可能地域が多く東京からのアクセスも良い。都市計画の制約はあるものの、希望の持てる土地利用を進めてもらいたい。一方で、全国的な人口減少を踏まえると、どこの自治体も自然減・社会減の傾向は変わらない。こうなると、商業施設等の進出は、将来的に顧客となるであろう人口が減っていくので、企業側にとっては投資リスクが高くなることになる。このような状況を分析しつつ、他の自治体とは差別化された取組によって開発を進めていく必要があるのではないか。

また、災害対策についてだが、当町の災害リスクを考えると、何と云っても水害対策が不可欠。堤防の整備など、町単独では対応できないことを考慮しつつも、水害への備えはきちんとやっていただきたい。

会 長：総合計画である以上、行政全体を網羅しなければならないが、ご指摘の通り優先順位を設定することは重要である。第6次計画では、注力する取組を重要施策として明記してあるので、町側としてもこの点は意識して計画を策定していると考えられる。しかし、今後、国や県への要望等を行うことがあった場合、計画の中でどの程度重きを置いているかというのは整理しておくべきである。そういう意味では、委員のご指摘の通り、優先順位を意識しながら策定作業を進められたい。

委 員：人口減少への対策として、外国人の定住促進を検討していただきたい。外国人に重点を置いたまちづくりを進めている自治体もある。先日、外国人が町内企業に就職したが、町内では住める場所が無かった。企業と連携し、外国人の就労者が町に定住する取組ができれば、人口減少への対策の一助となるのではないか。

委員：住む場所が無いのは部屋が空いていないのか、それとも貸してくれないのか。

委員：後者である。

委員：町として、空き家を活用して外国人の定住促進を図るのはいかがか。

事務局：第6次計画において、当町としては初めて「多文化共生社会の推進」という施策を掲載する。多文化共生社会の推進という意味では当町は後進自治体である。ご指摘の内容は、施策に基づく事業として検討すべき内容である。空き家活用という課題も踏まえ、今後、具体的な事業検討の際の参考とする。

委員：外国人の定住促進を図るのであれば、町民と良好な関係を築いていく取組も必要である。

会長：外国人と適切なコミュニケーションを図り、うまく町に馴染めるよう働きかけながら定住促進を図っていくことは重要である。今後の事業検討において、ぜひ検討されたい。


(3) 今後のスケジュールについて  
(事務局にて資料4を用いて説明。)

会長：来年度も、計画策定に向けた重要事項について審議していただく。引き続き、ご協力いただきたい。

(4) その他

会長：特にないようなので、議事を終了する。

4. 閉会

署 名	今井 敏義	
	猪鼻 静	